

平成30年度  
三田市予算編成に関する  
予算・施策 要望書

小山 裕久

## 平成30年度 三田市予算編成に関する予算・施策要望

三田市は、県下において比較的、健全な財政状況を維持されてきました。しかしながら、市民病院の経営状況や、今後の公共施設の問題、また、少子高齢化の影響による財政の悪化が今後予測されています。そのような中、森市長をはじめ、市職員の皆さまが一丸となり、この難題の数々に取組まれていることに対し、敬意を表するしだいでございます。

基金に依存した財政運営から脱却し、合理的かつ効率的な事業を求めるとともに、財政状況と地域の事情も鑑みながら、将来の三田市を築くため持続可能な予算編成および施策を次のとおり要望いたします。

平成29年11月7日 小山裕久

### 【税】

- 広告料収入を増やすため、庁内をも活用すべし
- 延滞繰越金は債権回収会社などを活用し効率的な回収
- 補助金に依存して運営されている団体をなくす
- ごみ処理事業の広域化による税収の確保
- 基金の運用を見直し利子及び配当金を増加

### 【まちづくり】

- 農村部での診療所設置
- 公共施設等へのミストシャワーの設置
- 空き家を活用した若者世帯への支援
- 若者の出会いのサポート支援
- 新婚世帯家賃補助事業の拡充
- 三田市での開業（医療）を条件付けした給付型奨学金制度の設置
- 三世帯同居奨励金制度の創設
- 既存の運動施設の整備強
- 中心市街地活性化への取組み
- 市内照明LED化へ早期の切換え
- 災害への備えとして旧市街地等の道路拡幅整備
- 歩道のない通学路のカラー化

### 【教育・文化】

- 学力格差をなくすための施策の確立
- 土曜日の学校のあり方を考える

- 夏休みの短縮により授業数の確保
- 教育バウチャー制度の確立
- 日本語教育及び日本伝統文化の学びの強化
- 小規模学校等による英語習得のための環境づくり
- 学校教育 I C T 活用の強化（プログラミング授業など）
- グローバル人材育成への取組み
- 部活動の市内広域化
- 市立幼稚園の3才児からの受け入れ
- 病児・病後児保育の強化
- 健康マイレージへの取組み

**【商工観光・農業】**

- 三田ブランドを構築するための、農作物の選択と補助金制度の創設
- 若年者以外の新規就農者への支援
- 若者世代への雇用創出
- 多言語表記の推進

**【企画・総務】**

- 頑張る職員のモチベーションが持続する職員基本条例の制定
- 給与構造改革への取組み
- 職員の市内在住率向上への取組み強化
- 庁内の事務作業見直しによる効率化及び I C T 強化によるペーパーレス化
- 市民活動リーダー育成プログラムの構築
- 各窓口等における翻訳機の設置